地域新聞
だからおもしろい
盛岡タイムス

2012年（平成24年）
7月20日
（金曜日）
第14847号

発行所　盛岡タイムス社
〒020-0015
盛岡市本町通3丁目9番33号
電　話（019）653-3111(代)
FAX（019）622-5119
HP　http://morioka-times.com
Eメール　hensyuu@morioka-times.com
月決め 2,200円　1部売り 100円

きょうの紙面
不来方先制実らず …… 3面
スタディツアー前に表敬 …… 8面
小さな手から自在な創意 …… 9面

被災地ニーズも新たに

ボランティア

盛岡市が宮古市川井に開設しているボランティア拠点かわいキャンプは、夏休み期間を前に受け入れ準備を整えている。5月末には同キャンプを経由するボランティアが1万人を超えた。現在も1日当たりの人数こそ減ったが、九州や中部地方、海外からも老若男女が東日本大震災津波の被災地で支援活動をしている。支援内容は多岐にわたり、個々の住民の生活再建にかかわる新たなニーズ、ボランティアも増えている。

沿岸被災地での活動へ出発準備をするボランティアたち（19日午前8時すぎ、かわいキャンプで）

キャンプは盛岡市中心部から約60キロ、所要時間約70分の旧県立宮古高校川井分校を活用。男女別の部屋、シャワー、トイレを完備。昨年7月6日の開設以来、宮古市、山田町、大槌町を支援する国内外からのボランティアを宿泊費無料で受け入れている。

19日は計19人が沿岸3市町で活動した。午前8時にオリエンテーションがあり、スタッフの送迎で現地へ向かった。宮古市では自宅に戻って生活を始める被災者宅のリフォームに伴い、2階に引き上げた調度品などを1階に運ぶ作業があった。大槌町では利用再開する野球場の清掃がニーズとしてあった。

大阪府富田林市の男性（60）は2日からキャンプ入りし、約半月活動した。「今春定年退職し、今回初めてのボランティア。キャンプはインターネットを使って探した。被災地で珍しい施設で初心者も安心してボランティア活動を始められる」と話していた。

「山田町の農家の果樹園再開をお手伝いしたい。生活や仕事を再開するためのお手伝いができた。住宅地にがれきはほとんどなく側溝の泥出しをしたが、まだ家を建てる状況ではない。そろそろ家に戻りたいという方の引っ越しや津波をかぶった家の食器洗いなど生活に即した作業ができて、うれしかった」。

運営を受託する盛岡市社会福祉協議会によると、昨年8月は夏休みを利用した学生らが訪れ、1日30～50人単位で宿泊利用があった。100人規模の利用の日もあった。開所以来継続して利用している中高年層も多く、月単位で滞在する個人が多く、全国から集まっている。

県内陸部からキャンプを経由する日帰りボランティアも一定数の利用がある。19日も盛岡市内の専門学校生の男子4人が山田町へ活動に入った。

今月の1日当たりの宿泊者・活動者数は平日が10～30人台で推移。土・休日は40人台に達する日もあった。大学などが休みの9月末までの予約状況は一ケタ台から8月に40人台の日もある。盆休みの利用に関する問い合わせは随時寄せられており、今後予約が入ると見込まれる。

キャンプの工藤和徳副所長は「利用者の半分以上がリピーターで、その口コミもある。ここの利用者で九州の豪雨災害被災地へボランティアに行った方から連絡もあった。海岸清掃、個人宅の手伝いまでさまざまなニーズがあり、新たなニーズも出ている」と、被災地支援とキャンプ利用を呼び掛けている。

宿泊、利用の問い合わせは電話0193-78-2005へ。

夏休み利用を呼びかけ

盛岡市開設のかわいキャンプ

31日に友好都市の調印

盛岡市とうるま市と比嘉さん立会人に

盛岡市と沖縄県うるま市との友好都市提携調印式は31日、盛岡市内で行われる。島袋俊夫うるま市長ら総勢55人が来盛し、盛岡市本宮の中央公園での記念植樹や記念レセプションも予定される。うるまの一行は8月1日開幕の盛岡さんさ踊りパレードに按司（あじ）行列の衣装で参加する。このほか今年度は各種記念事業が両市で行われる。

両市の交流は、盛岡を舞台に2007年に放映されたNHK「どんと晴れ」のヒロイン比嘉愛未さんの出身地がうるまだったことが縁。比嘉さんは調印式で立会人を務め、レセプションでも祝辞を述べる予定。

うるまの一行は第1陣が30日、第2陣が31日に来盛。記念植樹は花言葉「友情」のヤマボウシ3本が植えられる。さんさパレードには市職員・実行委チームに島袋市長ら約40人が参加。滞在中は東日本大震災津波で被災した沿岸部やボランティア拠点の市かわいキャンプの視察が計画されている。

ほかに記念事業は▽盛岡の中学2年生10人のうるま市派遣（12月）▽第5回友好の翼（10月）▽盛岡デーイン沖縄・友好の絆パネル展（11月）▽まちづくり市民交流会（会場・盛岡、来年1月）―など。

友好の翼は第7回うるま祭り開催時期に合わせて行われ、谷藤裕明市長らが訪問し、記念植樹や記念碑除幕が催される。

内容は19日の盛岡市実行委員会（会長・谷藤市長、12人）で報告、協議された。

決勝は盛大附と花巻東に

第94回全国高等学校野球選手権岩手大会

第94回全国高校野球選手権岩手大会は19日、準決勝2試合が県営球場で行われ、盛岡大附と花巻東が決勝進出を決めた。盛岡大附は4年ぶり7回目、花巻東は2年連続7回目の夏の甲子園出場を目指す。

第1試合は盛岡大附が不来方に先制を許すものの、好調打線が逆転し、その後も着実に加点し8回コールド勝ち。第2試合は花巻東が今大会初先発の大谷投手が立ち上がり一関学院に1点を与えるも、7回を被安打3、奪三振13と好投、打線も13安打を放ちコールド勝ちした。

決勝は県営球場で25日午前10時開始の予定。両校とも甲子園常連校だが、夏の県大会決勝での対戦は初めてとなる。

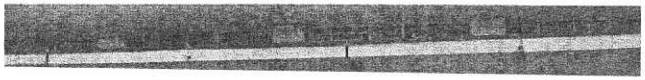
さんてつランチ列車28日出発

県庁前広場でキャンペーン　園児ダンスでPRに一役

28日からスタートする「家族でおでかけ！さんてつランチ列車」のイベントキャンペーンが19日、盛岡市内丸の県庁舎前広場で行われた。男子保育士のチーム・ファンタジスタ（高嶋純リーダー）メンバー、同市内の保育園児ら90人が「さんてつの歌」を歌いながらダンスを披露し、同イベントへの参加をアピールした。

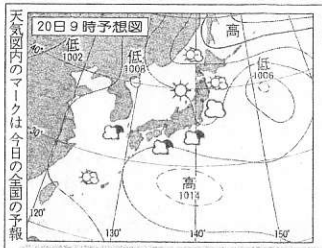
同イベントは、盛岡・八戸等の子育て世代が対象の三陸鉄道を利用した、三陸海岸への日帰り遠足。昼時間の指定列車利用で、小学生未満の園児らの参加者には、特製ランチを無料提供する企画。実施期間は28日から11月11日までの土日祝日。夏休み期間の7月30日から8月10日までは、平日も運行する。大人1人1500円。小学生500円。小学生未満は無料（ランチ付き）。

キャン…
上野善晴…
さつ。「三…
部区間が…
り、今後…
に、全部…
画。その…
今回のイ…
れる。小…
いる家族…
てもらい…
しんでも…
岸の景色…
い。沿岸…



お天気

20日は高気圧におおわれるが、湿った風が入る。盛岡地域は雲が広がりやすい。日中の気温は平年より低い。



ポイント予報　日本気象協会東北支局発表

	6時	9	12	15	18	21	24	最高	最低
盛岡								25	14
滝沢玉山								24	13
雫石								23	13
紫波矢巾								25	14

車検
軽自動車 43,380円
車両重量1t まで 普通車 59,850円
●上記金額以外は一切かかりません　●お車無料引取り
岩手車検センター
盛岡市小鳥沢2-20-5 tknbq272@ybb.ne.jp
0120-196-880

駒木葬祭は
「町の葬儀屋さん」です。
おかげさまで創業135年
日専連盛岡、国家公務員共済会指定店
盛岡市勤労者福祉サービスセンター指定店
川徳セレモニー指定店
通夜・告別式会場
浄光の間
0120-09-2343
フリーダイヤル
ホームページ
www.komaki-sousai.jp/
仏事のすべてを真心でご奉仕いたします。
創業明治10年